



■ 「いじめ、教職員の指導 アンケート」について (報告)

6月中旬に、標記アンケートをお願いしましたところ、御回答をいただき、ありがとうございました。

いじめについては、いただいた御意見を真摯に受け止め、回答された児童や保護者へ状況をお尋ねし、関係した児童にも確認をしながら指導を行いました。今後も児童が安心して学習に打ち込みのびのびと生活できるよう、継続して見守ったり、必要に応じて指導をしたりしていきます。教職員に関しては、体罰の訴えはありませんでしたが、行き過ぎではないかと思われる指導については、2件訴えがありました。児童と担当教職員に事実確認を行った上で、当該教職員に対して、また、教職員全員に厳しく指導を行いました。

つきましては、アンケートの概要を下記のように報告します。今後、いじめや教職員の指導等で、御心配なことがありましたら、いつでも学校へ御連絡・御相談下さい(92-0410)。御家庭と学校とで協力し、よりよい若基小学校にしていきたいと思います。

記

■ いじめについて (児童206名に対し、194名の保護者が回答)

	回 答	回答数	前回調査 (6月)
①	「いじめを受けている」	3名	5名
②	「いじめを受けたことはあるが、最近はされていない」	8名	12名
③	「いじめを見たりいじめがあると聞いたりしたことがある」	6名	7名

→ それぞれの件について、関係の児童・保護者様への事実確認を行い、児童同士の和解・謝罪、全体への指導等を行い、保護者様へ報告をしました。

①～③の具体的な例 (個人が特定できないよう、表現は変えています。)

学年	事案の概要
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の頃のリーダー格の〇〇君に命令口調の言葉を掛けられていた。現在、その子は別の小学校だが、同じ保育園だった子とトラブルがあると「〇〇君に言いつけるぞ!」と言われることがあり、嫌なようです。 ・ 子供本人は「いじめ」とまでは思っていないが、帰り道と一緒に帰ろうと上級生に近寄ると、その上級生が、我が子が近寄ってきたのを避けるようにして走って帰ったと聞きました。嫌な思いをした、と言っていたので、無理と一緒に帰る必要はないと伝えました。 ・ 本人は「受けている」と言っていますが、「誰にも言いたくない。」とも言っています。「苦手なお友達がいて、嫌なことがあったけど、ママには言いたくない。」と言って詳細を話したがりませんでした。親には言えなくて、先生には言えることがあるのかも知れません。私もゆっくり時間をかけ、タイミングを見て聞いていきたいと思えます。 など

<p>中学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冗談半分だったとは思いますが、今年度初めくらいに、ランドセルの中に「バカ」や「アホ」と書かれた手紙が入っており、嫌な思いをしました。子供に話を聞くと、軽くではあるようですが、蹴られたこともあるそうです。今はされなくなったと言っていました。 ・ 「いじめ」と言うよりは「けんか」かなと思いますが、その日の気分で遊ぶ約束をスルーされたり、他の子に我が子の悪口を言ったり、好きな友達のランク付けをしたり、それでも謝ることをしないまま、とぼけて遊びの誘いに来ます。子供同士のけんかなので、親が口を出していいものか、悩んでいます。 ・ その子の気分次第で無視されることが度々ある。今はないけれど、しつこく「お金を貸して。」と言われ、断り切れずに貸したことがある。 ・ 以前、遊びの仲間に入れてもらえなくて、悲しんでいたことがありました。 ・ 足を引っ掛けられ、肘、膝、顔にけがをした。 ・ 今まで「いじめ」まではなくとも、いじめのようなことは、子供から聞いたことがあります。しかし、このアンケートが配られるときには、忘れていていると思います。「いじめ」をなくし、早い段階で気付くためには、保護者が小さな事案を聞いたその都度、学校側に伝えられるシステムがあったらいいと思います。連絡帳に書くには、小さな出来事過ぎる…と思い、書くのをためらっている現状です。すみません。 など
<p>高学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間外し。話しかけても無視される。 ・ 本人は、腕にペンで描かれたり、連絡袋をごみ箱に捨てられたりしても、心配かけまいとすぐに話してくれなかつたり、1人でいろいろ考えて気持ちを切り替えて自分の中で処理してしまうので、日々、気を付けて様子を見ています。 ・ 昨年は、学校で何かあった際には、細かくご連絡をいただいて、本人が話せないことも先生から知らせていただいたことも多く、助かりました。今後も何かありましたら、ご連絡いただけるとありがたいです。よろしくお願ひいたします。 ・ あるお子さんが、同級生のお子さんに叩かれていたらしいと聞きました。理由は分かりません。 ・ 登下校の際に1人置いてきぼりにされたことがあります（仲間外し）。など

■ いじめについて（206名中、199名の児童が回答、今年度から、回答の形式が変わっているため、昨年度との数値の比較ができません。）

	友達からされて感じた「嫌なこと」の回答	回答数
ア	ひやかしやからかい、わる口、いやなことをいわれたこと	14名
イ	なかまはずれや むしをされたこと	10名
ウ	かるくぶつかられたり、あそぶふりをしてたたかれたりしたこと	10名
エ	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、けられたりしたこと	3名
オ	お金やものを むりやりとられたこと	1名
カ	お金やものをかくされたり、ぬすまれたり、こわされたり、すてられたりしたこと	2名
キ	いやなことやはすかしいこと、きけんなことをされたり、させられたりしたこと	2名

ク	メールや SNS など、いやなことを書かれたり、なかまはずれにされたりしたこと	0名
ケ	その他	4名

	「あなたの回りに困ったり悩んだりする友達がありますか」の回答	回答数
ア	いる。	7名
イ	いない	192名

→ 児童アンケートについても、事実確認を行い、和解・謝罪、全体への指導をして保護者様へ報告しました。2ページにも指摘があったお金の貸し借りについては、下の「中学年 オ」にも記述があり、事実を確定しようと聞き取りし、指導をしました。ただ、この事案は昨年度のことであり、金額や回数など、はっきりと特定できないところがありました。関わった児童の保護者様には、その旨お伝えしています。

ア～ケの具体的な例（個人が特定できないよう、表現は変えています。）

学年	事案の概要
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ア：友達から「死ね。」と言われた。 ・ア：滑り台の使い方友達とけんかし、「ばか。」「死ね。」と言われた。 ・ア：自分の名前をからかうような言い方をされた。 ・ウ：友達から、わざとぶつかってこられる。 ・ア：上級生から嫌なことを言われた。 など
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ア：上級生から悪口を言われた。 ・ウ：遊びの中でしつこくたたかれた（今はありません）。 ・ウ：友達が、ぶつかったりたたいたりしてきた（先生の注意後、なくなりました）。 ・ウ：友達から「遊ばーぜ。」と肩を組まれ、嫌だったが断り切れなかった。遊びの中で、おんぶのように乗っかってこられ、きつかった。 ・オ：しつこく「貸して。」と言われ、断り切れずお金を貸した。 など
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・カ：下校中、友達に傘でつつかれ、自分の傘が壊れた。 ・エ：友達が怒って投げた椅子が、自分に当たった。 ・イ：仲間外れにされたり無視されたりする。 ・ウ：友達に押されたり引っ張られたりした。 ・ケ：自分が壊した物のことを、いつまでも指摘される。 など

■ 教職員の体罰について（児童206名に対し、204名の児童・保護者が回答）

	回 答	回答数	前回調査 (6月)
①	「お子さんが体罰を受けたことがある」	0名	0名
②	「お子さん以外の児童が体罰を受けているのを見た・聞いたことがある」	0名	0名
③	「お子さんが、体罰とは思わないが、行き過ぎではないかと思われる指導を受けたことがある」	2名	2名
④	「お子さん以外の児童が、体罰とは思わないが、行き過ぎではないかと思われる指導を受けたことがある」	0名	0名

ご指摘をいただいたものについては、児童や担当教職員に事実確認を行った上で、当該教職員に対して、また、教職員全員に厳しく指導を行いました。その上で保護者様にも報告をしました。

③、④の具体的な例（教職員や個人が特定できないよう、表現は変えています。）

設 問	事案の概要と→その後の指導
③-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が忘れ物をしたとき、忘れないように筆箱の表面に「〇〇を持ってきましょう。」と書かれたメモ紙をセロテープで貼り付けられていた。この件は、既に校長先生に相談し、解決済みです。 → 保護者様から直接訴えがあつてから、すぐに担任に確認したところ、概ねその通りのことを行ったことが分かりました。学習用具を忘れたことは児童に非があるのですが、誰でもやってしまう悪意のないミスですし、事後指導が適切ではないと感じましたので、説諭しました。筆箱に貼り付けることで、知られたくない自分のミスを他の児童に見られてしまう可能性があります。厳しい見方をすると、これは人権侵害です。連絡帳や電話で保護者様にお伝えするとか、筆箱の中に児童宛のメモを入れておくとか、替わりの方法はいくつか考えられます。事案を全職員に伝え、我々自身が確かな人権感覚をもち、不用意な指導で傷つく児童が出ないように気を配るよう指導しました。
③-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前学年の担任の指導について、児童に寄り添った指導、言葉掛けがなされていないのでは、といくつか具体例を挙げての訴えがありました。そうした指導が合わずに、お子さんが「先生が怖い。」と言い出し、情緒が不安定になったことがあったそうです。学校に相談することを考えられましたが、お子さん自身が強く拒んだため、親としては静観する選択をされたそうです。現在、お子さんは現担任に気軽に相談できる関係性にあり、情緒が安定していると書かれておりました。 → アンケートに書かれていた具体例について、当該の前担任と当該児童に聞き取りを行い、そのような事実があったことを認識しました。まずもって、当該児童に嫌な思いをさせてしまったこと、それを気軽に相談できる学校の雰囲気ではなかったことを児童と保護者様に謝罪しました。前担任からも直接謝罪したいとの申し出があり、私の立ち会いの下で会ってみませんか、と児童に話したところ、「それは結構です」、と返答しましたので、その気持ちを尊重しました。そうした経緯も保護者様にお伝えしました。前担任は、学級経営を行う中で、児童に学力を付けようとして、または効率的に仕事をしようとして発した言葉や行動が、児童の思いに沿ったものではなく、逆に理不尽だと感じるものでした。学校生活においては、児童の安全・安心が何よりも大切ですので、信頼関係を築いた上で、児童が落ち着いてのびのびと学べる環境づくりを進めてまいります。

学習の場には、教える者（担任、教科担当）と学ぶ者（児童）という「立場」の差があり、一定のマナーの中で学習が進んでいきますが、年齢差があってもそれぞれの「人格」には当然何の差もなく、対等です。教える者も学ぶ者も、互いの人格を尊重し合い、共に高め合う師弟関係であってほしいと願います。

いよいよ明日から夏休み。コロナ感染・熱中症、水・火・車の事故、不審者事案には、くれぐれもご注意下さい。休み中、心配なことがありましたら、若基小(92-0410)へご連絡下さい。学校が閉まっている時(土日、8/10～8/13)に急な連絡(転校、入院、事故、PCR検査受診など)がありましたら、役場 教育学習課(92-7980)までご連絡を。すぐ校長・教頭に連絡して下さい。

